

株式会社レゾナック・ホールディングス
〒105-7325 東京都港区東新橋 1-9-1

2023 年 10 月 24 日

最高サステナビリティ責任者（CSuO）を新設 ～経営の根幹にサステナビリティを据え、取り組みを本格化～

株式会社レゾナック・ホールディングス（社長：高橋 秀仁）は、サステナビリティ及び総務を総括するポジションとして最高サステナビリティ責任者（CSuO）を新設し、2024 年 1 月 1 日付で松古 樹美（現：サステナビリティ部長）が就任します。

地球温暖化を背景としたカーボンニュートラルへの世界的な流れなど、サステナビリティへの対応は近年ますます重要性が増しています。当社は 2022 年 1 月の旧昭和電工と旧日立化成の実質統合にあたって、サステナビリティ部を戦略部門に立ち上げ、サステナビリティを経営の根幹と位置づけて「サステナビリティビジョン 2030」を設定すると共に、長期ビジョンの主要戦略を実行するためのサステナビリティ重要課題（マテリアリティ）を特定し、取り組みを進めてきました。

このたびの最高サステナビリティ責任者（CSuO）の新設は、サステナビリティを CSO（最高戦略責任者）傘下から、社長直下の CXO（最高職務責任者）として位置づけることにより、経営上の最重要テーマとして取り組む姿勢をより明確にしたもので、今後も当社は、「共創型化学会社」として、技術や事業を通じて社会の課題を解決し、社会に価値提供をすることで、自らの持続的な成長と企業価値の向上を実現していきます。

■新任最高サステナビリティ責任者（CSuO）略歴

氏 名：松古 樹美（まつこ なみ）

経歴：

1991 年、野村総合研究所入社。その後、野村證券にて、投資家とのコミュニケーションやコーポレートガバナンス、組織再編に関するコンサルティング業務等を担当。野村ホールディングス、オムロンなどでサステナビリティ活動の推進、統合報告書の作成、社内外エンゲージメント等を担当。2022 年旧昭和電工（現レゾナック・ホールディングス）入社、サステナビリティ部長として統合直前の統合報告書作成をリードし、「第 2 回日経統合報告書アワード」でグランプリを獲得。経営陣による「サステナビリティ推進委員会」を設置し、サステナビリティを経営の根幹とする態勢づくりを進めてきた。

以上

【Resonac（レゾナック）グループについて】

レゾナックグループは、半導体・電子材料、モビリティ、イノベーション材料、ケミカル等を展開し、川中から川下まで幅広い素材・先端材料テクノロジーを持つ化学会社です。2023年1月に昭和电工グループと昭和电工マテリアルズグループ（旧日立化成グループ）が統合し、新たなスタートを切りました。新社名の「Resonac」は、英語の「RESONATE：共鳴する・響き渡る」と、Chemistryの「C」を組み合せて生まれました。レゾナックは「共創型化学会社」として、共創を通じて持続的な成長と企業価値の向上を目指しています。2022年度の売上高は約1兆4千億円、うち海外売上高が56%を占め、世界22の国や地域にある製造・販売拠点でグローバルに事業を展開しています（2023年1月時点）。詳しくはウェブサイトをご覧ください。

株式会社レゾナック・ホールディングス <https://www.resonac.com/jp/>

◆ 本件に関するお問い合わせ先

株式会社レゾナック・ホールディングス
ブランド・コミュニケーション部 広報グループ
TEL 03-6263-8002